

春のつどい

「政治を良くしたい」の思いが一つに

いま全国で、党支部主催の「つどい」が開かれています。今回は、4月26日、羽村団地集会所でおこなわれた「春のつどい」についてお伝えします。当日は15人が参加。最初に鈴木たくや市議が活動の報告をおこない、その後、参加者から様々な発言が出されました。最後に、鈴木おさむ衆院25区予定候補がかけつけ、決意表明。つどいは「政治を良くしたい。共産党を伸ばしたい」の思いが一つになるものとなりました。

みなさんに支えられ1年間の議員活動



鈴木たくや市議は、画用紙でつくった「活動報告・紙芝居」をめくりながら、1年間の議員活動について報告しました。

4回の議会では、1時間の持ち時間をめいっぱい使いながら、子育て支援、くらし応援、ごみ問題、基地問題などをとりあげてきたことを紹介。その中で、学童クラブの待機児解消や、小金井ゴミ持ち込み期間短縮・減量などの成果をあげてきたことを報告しました。

そして、「まだまだ市政の課題は山積みです。みなさんのご支持に支えられて1年間が

んばってきましたが、さらに暮らしやすい羽村市をつくるために頑張ります。ご支援をよろしく願います」と述べました。

参加者からいろんな意見が飛び出します

参加した方からは、様々な意見がとびだします。

○「後期高齢者医療制度」については・・・

「私は、障害をもっていて、後期高齢者医療制度の対象になっていました。それで、市役所に行って、入った方がいいのか、入らない方がいいのか聞いてきました。結局、1年間は、入らない方が安くすむという話でした。この制度は、本当によくわからないところがあります。」

「この後期高齢者医療制度についてだけれども、羽村の人は静か過ぎるのではないですか。まだまだ無関心の人も多いし、知らないのかしらね。」



「この前、頭のCTをとったんですが、3800円ですよ。1年前とくらべると、ずっと検査料が高くなっていました。私、これからは検査とか、自費で払わなくちゃいけない危険があると思うんですよ。そういう方向にいつてしまうんじゃないかと。」

「私、こういう後期高齢者医療制度とか、おかしいと思っている人はたくさんいると思うの。でも、どうやったら、そういう個人個人の思いがまとまるんだろう、と考えるの。」

「それじゃ、市役所の前で座り込みしなくちゃ!」「ハハハハ!」

「いやいや、広域連合だから、市役所の前に座っても効果がないんじゃないの」

「そうでもないよ。市役所の人、広域連合に報告するから、無駄じゃないんじゃないかなあ」

「私は、東京土建やっているから、署名の力はすごいと感じるんですよ。土建国保を守るために、署名を山ほど集めると、それは力になるんですよ。数は力なんです。」

「なるほど。」

○市政のことについては・・・

「さっきのたくやさんの報告。学童クラブに入れないうちをなくす、という話ばかりで、入った子どもがどういう風になっているか、そこのところはどうなの?」「ああ、そうでした。実は、羽村の学童クラブは定員を超えて子どもを入れているところがあるんですよ。やっぱりこれは新しい学童クラブをつくらないと根本的な解決はできない、と市にはくりかえし言っています」「言ってるならいいけど。はやくそうなるといいね。」

「市議会での市長の答弁には、暖かさ、前向きさが余り感じられませんね。自治体独自でもっと国の制度の悪いところを補うようなことをやるべきではないでしょうかねえ。くらしのこととか。」 < 裏面につづく >